

よしだ

文化会館だより

No. 91
2006. 9. 1

歌うキネマ「ホタル」を熱演

人権教育講演会で趙博さん

7月28日、市民会館大ホールで人権教育講演会（笠岡市・笠岡市教育委員会・笠岡市人権教育研究協議会主催）が開催されました。「歌う浪花の巨人」こと趙博（ちようばく）さんが、「歌うキネマ『ホタル』」と題して、映画「ホタル」の世界を渾身の情熱で演じました。



▲歌うキネマ「ホタル」を演じる趙博（ちようばく）さん。

映画「ホタル」（2001年東映作品、降旗康男監督、高倉健・田中裕子主演）は、第2次世界大戦で特攻隊員として片道飛行に旅立った朝鮮半島出身の男性を取り巻く、若く尊い命たちの心情を深い心で描いた作品です。

趙博さんは、参加者約550人の前に、言葉と身振り、そして音楽という構成で物語を展開する「歌うキネマ」という手法で「ホタル」を演じました。そして、戦争のむなしさや悲惨さを語り伝えたいと、「戦争は人権侵害の最たるもの」と訴えました。

来場者からは、「すごいパワーを

おもしろ工作教室

7月26日、吉田文化会館でもしる工作教室が開催されました。およそ140人の子どもたちが参加し、

竹とんぼ、ミラクルキューブ、キーホルダー、スライムづくりなどに挑戦しました。

この行事は、「たくましい笠岡っ子」育成事



▶楽しい工作に熱心に取り組む子どもたち。



参加した子どもたちは、使い慣れないナイフなどに悪戦苦闘しながら工作に取り組み、楽しみなが交流を深めていました。

業の一環として、地域に根ざした多様な活動の機会を提供するとともに、多くの友だちとのふれあいを通して人権意識を高めることを目的に、吉田公民館、山鳩子ども会育成会、吉田小学校、吉田文化会館が合同で開催したものです。

感じた。（趙博さんの）他の作品も見たくなった」、「国、民族を超えて信念を通じた美談を語られ感動した。平和の尊さの深みを感じた」、「戦争では一人ひとりの大切な人権が奪われるということが改めて理解できた」といった声が多数寄せられました。

また、ホワイエでは「『原爆と峠三吉の詩』パネル展」と「市内小中学生による平和のメッセージ展」が同時開催されました。戦争の残酷さ、平和の大切さを訴える展示を見入り、決意を新たにする人の姿が多数見られました。